

## シラバス詳細

保健医療福祉科目													
授業科目名													
カリキュラム2012													
IPW実習 Interprofessional Work Practicum													
No.	時間割番号			開講時期				曜日・時限					
1	100300901			後期				集中					
配当年次 および 必須 (○)・選択 (○) の別													
No.	看護	理学	作業	社福	福子	行動	検査	口腔	教職				
	編入			専攻	編入	専攻	専攻	専攻					
1	4○	3○	4○	4○		4○	3○	4○	4○	4○	4○	4○	
履修における注意点・履修条件等													
履修条件なし													
科目責任者		原 和彦		単位数・時間数		1単位 45時間		授業形態		実習			
科目担当者		畔上光代、櫻井育穂、宮部明美、黒田真由美、千葉真希子、滑川道人、井上和久、久保田章仁、松尾彰久、川俣実、小泉浩平、大岡華子、富田文子、久保田亮、秋山恭子、井原寛子											
科目に関連する実務経験		○ 殆どの教員は、保健医療福祉領域の施設や機関での実務経験があり、その経験を活かして、学生チームの専門職連携の学修を促進する。											
授業の概要													
シラバスの『授業計画』の記載は、未定の部分があり、今年度コロナ禍の動向により、現在記載されている情報も修正される可能性があることをご理解いただきたい。現在実習方法は検討中で、7月中の公開を予定している。													
授業は実習施設では行わない。皆さんは、対面ではなくインターネット遠隔教育システムを使用し、各学科と他大学学生で構成される5～6名の混合チームとなって、チームに与えられた課題に対し事前学習を行った後、実習施設の利用者様や担当者からの情報提供など、チーム活動を通し課題解決を行う。実習の最終日には複数チームで報告会を行い、討論と学びの共有をして、実習の到達目標の達成をめざす。													
実習は2期分けて行われる。													
●オリエンテーションⅠ IPW実習①：(8月9日) IPW実習②：(9月未定)													
●オリエンテーションⅡ IPW実習①：(8月20日) IPW実習②：(9月30日)													
●実習 IPW実習①：(8月23日～26日) IPW実習②：(10月5日～8日)													
学習のねらい													
本科目の目的は、利用者中心の統合されたケアを創造するために、専門職連携実践の方法を身につけることである。													
また、次の4つの到達目標を学修を目指す。													
① 利用者・集団・地域の理解と課題解決の実践方法を身につける													
② チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を身につける													
③ チーム形成と協働の実践方法を身につける													
④ 体験を振り返り、意味づけ、自分の課題を見出すためのリフレクションができる													
利用者にとっての意味ある支援は、それを創出する履修者のチーム形成と相互理解のプロセスによるところが大きい。最終日に行われる報告会での発表内容について「よくまとまり過ぎて」「表面的な報告内容だった」などの評価を受けることがあるが、この実習で学修してほしいのは、専門職連携実践の方法であることを心にとめて参加して頂きたい。													
関連するディプロマポリシー													
対象者の理解・倫理観		客観的・批判的思考		多面的・専門的		連携・統合		国際的・地域					
						○							
授業の到達目標及び授業概要													
回	授業の到達目標			授業概要				担当教員		講演者			
1回	・「I事前学習シート1」(自己紹介、実習施設等に関する事前学習、IPW実習において自分はどういう貢献ができるか)を提出する。			【履修の手引きの参照】 事前学習(期間未定)				畔上、櫻井、宮部、黒田、千葉、滑川、井上、久保田、松尾、小泉、大岡、富田、久保田、秋山、井原		□			
2回	・「IPW実習事前学習シート」(決意表明、チームビルディングのための課題、他)の提出と説明をする。			【履修の手引きの参照】 オリエンテーションⅠ(①8/9、②9/未定) オリエンテーションⅡ(①8/14、②9/30)				畔上、櫻井、宮部、黒田、千葉、滑川、井上、久保田、松尾、小泉、大岡、富田		□			

<p>3～6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム形成のプロセスと相互理解からの学び」と「利用者・集団・地域の理解と課題解決の検討内容」を相互の関連性をもって説明できる。</li> <li>・チームメンバーや教員と適切にコミュニケーションする。</li> <li>・課題解決の方針についてディスカッション（発言、表現、傾聴、調整など）する。</li> <li>・報告会において、自身のチームの発表での役を果たし、他チームの発表への傾聴・質問、全体討論などに参加する。</li> <li>・チーム活動全体、自己の発言や行動をリフレクションする。</li> </ul>	<p>【履修の手引きの参照】</p> <p>IPW実習期間：①8/23～8/26、②10/5～10/8 (日程と内容)</p> <p>1日目 ○事前学習の確認・共有 ○チームのルールを確認 ○行動計画を教員ファシリテータと共に検討（シート2） ○事例の検討 ○リフレクション</p> <p>2日目 ○行動計画の修正 ○各専門職からの情報等の検討 ○事例の検討 ○個人学習 ○ディスカッション ○リフレクション</p> <p>3日目 ○行動計画の修正 ○各専門職からの情報等の検討 ○事例の検討 ○個人学習 ○ディスカッション ○リフレクション</p> <p>4日目 ○報告内容のまとめと報告の準備・練習 ○報告会 ○リフレクション</p> <p>*ディスカッションやリフレクションは主としてZoomミーティング等を利用する。</p>	<p>、久保田、秋山、井原 畔上、櫻井、宮部、黒田、千葉、滑川、井上、久保田、松尾、小泉、大岡、富田、久保田、秋山、井原</p>	<p>□</p>
---	--	--	----------

#### 授業計画に関する特記事項

この実習には、他大学の学生も含めると約520名が参加を予定している。

#### 教科書

特になし

#### 参考書、教材等

(参考書) IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携－(中央法規)、IPW実習履修の手引き

#### 評価方法

事前学習の実施及びオリエンテーションの参加度 (20%)  
実習施設での実習及び報告会 (4日間) の参加度 (40%)  
提出物 (IPW実習最終レポート、シート他) の内容 (40%)

#### 授業外における学習方法

WebClassのメール等でお知らせするので、「事前学習シート」「リフレクションシート」「IPW実習最終レポート」などの課題について、よく説明を聞いて取り組んで頂きたい。

#### 学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

この科目は彩の国連携科目となっています。県立大学の5学科の学生混合チームを基本とするが、一部の学生チームに埼玉医科大学(医学科)、城西大学(薬学・薬科学・医療栄養学)、日本工業大学(工学部 生活環境デザイン学科)の学生が参加する。保健医療福祉科目(ヒューマンケア論、ヒューマンケア体験実習、IPW論、IPW演習)や専門科目などの中で培ってきた各自の力を出し合い、互いに研鑽して学修しよう。

#### 授業における講演者(ゲストスピーカー)の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日: 2021/03/22 08:58

印刷

閉じる